

2023年10月5日 - 俳優や講演家などマルチな活動をされている神木優さんが、立教大学経営学部の西原ゼミにてとある講座を開催しました。この講座は、ナレッジマネジメントの基礎理論である「SECIモデル」を、楽しいワークショップを通じて実際に体験しようという内容でした。ぜひ皆さんに紹介いたします。

その前に、神木優さんについてご紹介しましょう。

神木さんは、「桃太郎」を研究し、エンタメにもビジネスにも取り入れ活動する、唯一無二のスタイルを取る俳優です。1人エンターテイメント「MOMOTARO」では、あらゆるジャンルの方々とのコラボレーション公演や、1年間で東京都23区全区制覇や、90分一人芝居、ギネス級の8時間耐久ひとり寄席など、新しい形のエンターテイメントを創作しています。日本全国公演はもちろん、アメリカやオーストラリア、つい最近もシンガポールでの講演でも成功を収めています。2018年には、著書「きびだんごの法則」を出版し、八重洲ブックセンターにて、ビジネス書ベストセラーランキング2位を記録、その斬新な切り口が評判で、多数の企業でも講演も行なっています。

そんな神木さんが、立教大学で知識創造・ナレッジマネジメントを研究する西原ゼミとコラボレーションして開催した今回の講座をちょっとご紹介します。

この講座は午後の2コマを使って行った特別講座。まず前半は、神木優さんから昔話「桃太郎」に関するレクチャーがありました。皆さんご存じの「桃太郎」という昔話ですが、実は表面だけでは知り得ない深い部分があります。子午線や鬼門の方角といった古来の日本文化との深い繋がりがある話であること、そもそも「どんぶらこ」って何？実は古事記や日本書紀とも関係のある物語であること、更には桃太郎から学ぶリーダーシップ論など。神木さんから学生の皆さんへ、真面目に、時に笑いを交えながら、表面的ではない真意に繋がるレクチャーをしていただきました。

そんな桃太郎の表や裏を聞いた西原ゼミの皆さん。後半はレクチャーされた桃太郎の情報から、自らが議論を通じて発展させ、新たな物語を作るという一風変わったワークショップを行いました。ここで大事なことは「SECIモデル」を回すということ。発想豊かな学生の皆さんは、色々なストーリーを作り上げてくれました。例えば、鬼退治の後日談について、残った青鬼が、どうして残れたのかという分析から、自分たちが退治されないロジックをSECIモデルで考えたり、時代の変化と共に発展する鬼の倒し方を、昔の桃太郎の書いた鬼退治の秘伝書（正に形式知）を見つけ、仲間たちと発展させたうえで新たに鬼を退治していくストーリーを描いてみたり、私たち大人ではなかなか思いつくことのできない発想で作り上げてくれました。

参加した学生さんたちは、色々なストーリーを通じて、SECIのイメージが具現化することが出来た、具体化したことで一人ひとりがSECIの捉え方を頭に描くことができたといった、大きな学びに繋がったという感想を述べてくれました。

西原ゼミでは、知識創造、ナレッジマネジメントに関して実社会で活躍する実務者から学ぶ取り組みが行われており、神木優さんの講座はその一環として行われました。この講義は、将来のキャリアを築くための貴重な機会となり、インターン、就職活動を含む将来のキャリア形成において大いに役立つことでしょう。

私たち NPO 法人 SECI プレイスは、このような SECI モデルの学びを通じて、広く社会の幸せと発展に貢献するべく、引き続き活動を進めてまいります。

【以下当日メモ】

- 3時限目は桃太郎についての知識を展開。桃太郎から常識を壊す。
- 4時限目はそれを SECI モデルのフレームに落とし込む。桃太郎から SECI を考える。

【3時限目：桃太郎から学ぶリーダーシップ論】

- アイスブレイク
 - まずは桃太郎を入り口にして、学生たちとのアイスブレイクを実施。少しずつ笑いを交えて、学生たちにも徐々に笑顔が出始める。
 - どんぶらこってなに？日本最強の固定概念。
 - 子午線、鬼門の方角、意味合いについて。鬼は丑と寅の方角だから。このような古来の日本文化との繋がりを展開。
 - 古事記、日本書紀と、桃太郎の関係。
 - エブリバディ・桃太郎
 - ◇ 参加者一人ひとりのキーワードを繋ぎ合わせて物語を作る。
 - ◇ 学生は色々な発想でとても古い物語ではないキーワードを出す。
 - ◇ エリザベス、トイレ、レンジ、ダンゴムシ・・・発想豊かな学生たちに驚きながらも、鮮やかに物語にする神木さん。
- 桃太郎から学ぶリーダーシップ論
 - この先の人生、望まなくてもリーダーとなったり、逆に好まないリーダーについていたりする状況がある。そのためのリーダーと部下の心構えについて。
 - 鬼ヶ島にいく桃太郎の熱意。知っている物語は、それが現れていない。桃太郎は吉備団子ひとつで仲間を増やしたのではなく、その熱意、つまり背中 of 姿を感じて犬猿雉はついていった（吉備団子のため、だけじゃない）。裏の熱意を感じてついていった。
 - リーダーは色々述べている。でもリーダーシップ論なんか考えていない。人間力をあげるという言葉に集約される。
 - お供から考える7つのマインド。
 - ◇ 今のコミュニティからステージをあげる。犬猿雉から人間とのステージに上がる。付き合う人を変える、環境を変えることで成長する。
 - ◇ 謙虚さを常に持つておこう。群から出よう。その中から一歩出ること、視点や見える世界が変わる。
 - ◇ リサーチしよう。桃太郎の歌。なぜ桃太郎の名前を知っているのか？なぜ吉備団子が腰にあることを知っているのか？お供はなぜ知っていたのか。先に調査していた。これが策略。
 - 最後に桃太郎アナグラムで楽しい笑いでクロージング。

【4時限目：桃太郎で SECI モデルを理解する】

- 桃太郎を分解した前半。色々な側面で考えた桃太郎をベースとして、SECI を紹介できる新たな桃太郎を作って欲しい。
- 5名ずつのチームに分かれて、グループワーク。
 - 最近の学生ならでは。全員がパソコンを開けてオンラインで接続。画面を共有しながらワードにそれぞれ書き込む。
 - あるチームは、一人のノートに絵を描きながらイメージを共有し、ストーリーを構築。
 - どのチームも意見がどんどん出てきて、アイデアが膨らむ。心理的な安全性の高いメンバー同士が、面白くも説得力のあるストーリーを全員で考えるのを大切に、元気に取り組んでいるのが印象的。
 - さすが若い学生。発想が豊かであり、時間内にほぼストーリーが完成。
- 学生発表
 - 鬼さんばいばいしたくないよ
 - ◇ 鬼退治の後日談を SECI で考えた
 - ◇ 残った青鬼が、どうして残れたのかという分析から、自分たちが退治されないロジックを SECI で
 - ももモンスター
 - ◇ 戦いで得られた戦術を、他のメンバーと共に修行していく
 - ◇ 鬼に挑戦する共同体験、反省を言葉に、新しい戦術を作り、修行することで内面化
 - 恋の行方はどんぶらこ
 - ◇ 犬飼くんが告白を見てアドバイスする、新しいアタック方法を考える連結か、桃子が練習して内面化、鬼塚に実践する共同化
 - 逆襲物語
 - ◇ 鬼側から考えたストーリー
 - ◇ 鬼が人間のことを羨ましがって、意地悪した。それに対して敵討のために桃太郎が立ち上がり退治した
 - ◇ 鬼は敗北した、敗北した要因を議論する共同化、犬猿雉を味方につける
 - ◇ 鬼は逆襲計画を立てた、仲間にするために鬼団子を作る作戦を考えた
 - ◇ 最後は鬼が仲間を作り勝ったというストーリー

- 時代の変化と共に発展する鬼の倒し方
 - ◇ 昔の桃太郎の書いた鬼退治の秘伝書を見つけて、新たに鬼を退治しに行く
 - ◇ 秘伝書から、課題を抽出した。仲間の大切さと戦略の必要性を考えた。
 - ◇ 100年に一度の鬼出現に対して、言語化したことでノウハウを、対話を通じて話し合った、形式知を組み合わせたことで連結化した
 - ◇ 2代目桃太郎は、鬼もアップデートしているので、自分たちも成長していく、SECIスパイラル
- 桃太郎から始まる世界平和
 - ◇ 鬼退治で桃太郎の平和思想が伝わる
 - ◇ 桃太郎経験を本にして出版、世の中に広まる
 - ◇ 一方で残っている鬼を、再び退治しにいった、その経験をまた本にした
 - ◇ 100年後の人たちが、また本を読む
- 鬼ヶ島攻略（お馴染みの桃太郎退治を SECI で）
 - ◇ S) 桃太郎の住む村に鬼がやってきて畑を荒らし財宝を奪った。小さい頃の体験から、鬼退治を決意した桃太郎は仲間を引き連れて退治にいった
 - ◇ E、C) 四人は知恵を持ち合って鬼の倒し方を計画、しかし鬼と戦うも敗退。
 - ◇ I) 敗北から学んだ。それぞれ思うところがあり、学びを活かして特訓した。
 - ◇ I) この話を童話で知った子供達は、正義は勝つ、どうやって勝つを学んだ
- 着想、発想が面白かった。SECI がちゃんと回っていた。シンプルな1つのアイテムだけで回せるのがすごい。
- 鬼退治は、もともと見えないものが恐怖だから、あえて形を作ったのが始まり。100年に一度の災害という鬼に対して、みんなで手を取り合って戦う、という SECI は回ると思った。
- 無理やり出したことで、暗黙知を揺さぶった。これも SECI の1つ。重要であり、人間の経験値は何かの時に必ず出てくる。苦しんだ時にいいものは出てくる。
- ともかく学生は発想が豊か、色々なストーリーが生まれていく。
- 大事なのは、一つのストーリーではなく、色々なストーリーを通じて、SECI のイメージが具現化すること。ストーリーにしたことで、一人一人が SECI の捉え方を頭に描くことができた。
- 頭に描くイメージは人それぞれ。表出することで、それを受け取った人に新たな解釈が生まれる。正に SECI が回っている時間だと感じた。
- 冒頭に比べて、学生の理解度や共感性が上がった。